講義名	専門基礎演習(経)					授業形態	
担当教員	内山　勝久	開講期・曜日・時限	前期 木曜日 １時限				
		単位数	2	履修開始年次	２年生	ナンバリング・コード	SEM240

主題と概要

1年次の「気づきの教育」を経て模索している「なりたい自分」の実現に向けて、自ら選択した学部・学科・コースでの2年次以降の学びに円滑に移行できるよう、専門科目を学ぶ際に求められる基礎的な能力・技能のさらなる向上を図ることを目的とする。
「考える学習型」授業や研究演習に積極的・主体的に参加し、課される課題に適切に取り組む上で求められる、汎用的な能力・技能を育成するとともに、学部・学科の特性に応じた能力・技能の育成を図る。
これらを通じて、本学の学生が卒業時に共通して身につけておくべき5項目の資質・能力を身につけた人材（①「ネアカ のびのび へこたれず」の精神をもった人材 ②知識を知恵に転換することができる、論理的思考力を持った人材 ③創造力（新しい視点と豊かな発想）を持った人材 ④自主・自立の精神を持った人材 ⑤仲間と協同して、物事を成し遂げることができる人材）となるための確かな基盤を築く。

到達目標

・「考える学習型」授業や研究演習に積極的・主体的に参加し、課される課題に適切に取り組む上で求められる、文書作成能力、プレゼンテーション能力等を含む基礎的なコミュニケーションの能力・技能を身につけることができるようになる。
・学部･学科の専門分野、研究演習の研究対象分野に応じて必要とされるレベルで様々な情報ツール（文書作成、プレゼンテーション等のツール、新聞、文献等の情報検索）を活用できる能力・技能を身につけることができるようになる。
・ある程度専門的なテキスト（文章）を読める基礎知識、それらを理解して要約・発表等ができる能力を身につけることができるようになる。
・次期以降に展開される専門ゼミ（「研究演習Ⅰ」）の位置づけを理解し、将来の「なりたい自分」の実現に向けて、それに即した適切な専門ゼミを選択できるようになる。

提出課題

経済学部の専門基礎演習は、第1回～第8回と第9回～第15回に区分される。
第1回でのガイダンスを踏まえ、第2回～第7回では、専門基礎演習担当の経済学部所属教員がそれぞれ専門分野についてのミニ講義を行い、その中で「研究演習Ⅰ」（通称「ゼミ」）を開講する教員はゼミについての説明を行う（第7回は動画による説明となる）。
これらの受講を通じて、受講生は経済学部の専門教育についての見通しを得るとともに、内容をきちんと理解したうえでゼミ選択できるようになる。また、ノートテイキングとそれをもとにしたまとめ作成ができるようになる。そのため、毎回ワークシートの課題を課す。
第8回は、研究演習Ⅰ第1次募集申込書作成状況を確認し、ゼミ選択の交流をおこなう。また、第8回までの専門基礎演習の内容を振り返るワークシートの課題（アンケート）を課す。
第9回～第15回は、クラス別に能力・技能の向上と育成のための演習を行う。提出課題は担当教員により異なる。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

第1回～第8回のワークシートについては、担当教員による確認等を経て受講生に適宜コメントする。
第9回～第15回の提出課題に対するフィードバックは担当教員により異なる。

評価の基準

第1回～第8回のワークシート 8/15、第9回～第15回の課題 7/15の割合で評価する。

履修にあたっての注意・助言他

この科目の到達目標を達成するため、毎回出席し、課題を提出する必要がある。
資料や課題については、キャンパスクロス、またはRYUKA Portal を通じて配信することがある。また、メールでの連絡もありうる。こまめに確認し、指示に従うこと。

教科書

.使用しない。.				

参考図書

.必要に応じて随時紹介する。.				

その他

資料は、必要に応じて演習中に配布するか、事前にキャンパスクロス、またはRYUKA Portal を通じて配信する。
事前配信の場合、ダウンロードし、印刷するなど、演習に向けて準備すること。
参考文献は、必要に応じて随時紹介する。

授業計画

1.　専門基礎演習の運営方針説明 、自己紹介など
　・事前に配付される資料に目を通し、予習する（2時間）
　・動画「ゼミ選択に向けて」を視聴し、ワークシートを作成する（2時間）
2.　3名の教員（平越先生・内山・三谷先生）のミニ講義を受講し、ワークシートを作成する
　・事前に配付される資料に目を通し、予習する（2時間）
　・受講したミニ講義を振り返り、ワークシートを作成する（2時間）
3.　3名の教員（羽森先生・植松先生・竹内先生）のミニ講義を受講し、ワークシートを作成する
　・事前に配付される資料に目を通し、予習する（2時間）
　・受講したミニ講義を振り返り、ワークシートを作成する（2時間）
4.　3名の教員（中島先生・伊藤先生・森澤先生）のミニ講義を受講し、ワークシートを作成する
　・事前に配付される資料に目を通し、予習する（2時間）
　・受講したミニ講義を振り返り、ワークシートを作成する（2時間）
5.　3名の教員（森脇先生・上淵先生・澤田先生）のミニ講義を受講し、ワークシートを作成する
　・事前に配付される資料に目を通し、予習する（2時間）
　・受講したミニ講義を振り返り、ワークシートを作成する（2時間）
6.　3名の教員（丸山先生・関先生・村上先生）のミニ講義を受講し、ワークシートを作成する
　・事前に配付される資料に目を通し、予習する（2時間）
　・受講したミニ講義を振り返り、ワークシートを作成する（2時間）
7.　4名の教員（仲間先生・三原先生・吉川先生・後藤先生）のミニ講義動画を視聴し、ワークシートを作成する
　・事前に配付される資料に目を通し、予習する（2時間）
　・受講したミニ講義動画を振り返り、ワークシートを作成する（2時間）
8.　研究演習Ⅰ第1次募集に向けて、ゼミ選択の交流、申込書作成状況の確認をおこなう
　・個別ゼミ訪問に足を運び、ゼミ選択を進める（3時間）
　・演習での議論を踏まえ、研究演習Ⅰ第1次募集申込書を作成し、提出する。また、それを踏まえてこれまでの専門基礎演習を振り返るアンケートに答える（2時間）
9.　動画「英語学習のすすめ（仮）」視聴、クラス演習の概要説明
　（予習）なぜ英語を学ぶ必要があるのか、自分なりに考えてみる（1時間）
　（復習）動画を振り返り、ワークシートを作成する／今後の人生における資金計画を考えてみる（3時間）
10.　グループワーク（1）
　（予習）株価と為替レート、主な経済ニュースを確認する（1時間）
　（復習）プレゼンのアイデアを考える／WBS（＊）を視聴する（3時間）
11.　グループワーク（2）
　（予習）株価と為替レート、主な経済ニュースを確認する（1時間）
　（復習）プレゼンの資料を収集する／WBS（＊）を視聴する（3時間）
12.　図書館活用演習（応用編）（※）
　（予習）特になし
　（復習）プレゼンのスライドを作成する（4時間）
13.　プレゼンテーションの練習（1）
　（予習）プレゼンの準備をする（2時間）
　（復習）皆のプレゼンを振り返り、自分のプレゼンの改善点を考える（2時間）
14.　プレゼンテーションの練習（2）
　（予習）プレゼンの準備をする（2時間）
　（復習）皆のプレゼンを振り返り、自分のプレゼンの改善点を考える（2時間）
15.　全体のまとめとふり返り
　（予習）株価と為替レート、主な経済ニュースを確認する（1時間）
　（復習）研究演習でやってみたいことを考える／WBS（＊）を視聴する（3時間）

（＊）WBS：ワールド・ビジネス・サテライト（https://www.tv-tokyo.co.jp/wbs/）
（※）図書館の空き状況等により、日程や授業計画を変更する可能性があります。

授業形態（アクティブ・ラーニング）

	ア：PBL（課題解決型学習）		イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
○	ウ：ディスカッション、ディベート	○	エ：グループワーク
○	オ：プレゼンテーション		カ：実習、フィールドワーク
	キ：その他（ＡＬ型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）		

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

この科目は経済学部共通科目の特別研究に位置づけられており、経済学部ディプロマ・ポリシーで述べられている「経済学の知識を幅広く修得し、総合的考察と情報処理能力に秀でた人材」となるための土台づくりを行う。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

演習形式の授業である。学生はワークシートや課題を提出し、教員がそれについてコメントする。また、学生の発表や学生間の議論を実施する。

実務経験の有無及び活用

備考

キャンパスクロス、RYUKA Portal、メールをこまめにチェックすること。